

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	遺伝性乳がん卵巣がん症候群患者の同定における家族歴の有用性の検討
	研究目的	BRCA1/2 遺伝学的検査では遺伝性乳がん卵巣がん症候群（以下、HBOC）というがんになりやすくなる体質を持っているのか調べることができます。これまでは HBOC の可能性が高いと予想される方（ご家族に乳がんや卵巣がんが多い方、若年発症の乳がんの方など）が受けることの多い検査でしたが、最近ではこの検査を分子標的薬の効果を予測する目的で受けることがあります。その結果、これまでは HBOC の可能性が低いと考えられていた方も検査を受けることが増えてきました。しかし、そのような方では検査結果が陽性となる可能性がどのくらいあるのか分かっていません。そこで、それを明らかにしていくために当センターで分子標的薬の効果予測目的でこの検査を受けられた乳がんの方を、診療記録をもとに「HBOC の可能性が高い」グループと「HBOC の可能性が低い」グループに分けて陽性とする割合を調べる研究を行なっています。
	研究対象者	当センターでコンパニオン診断目的で BRCA1/2 遺伝学的検査を受けた乳がん患者
	研究期間	西暦 2020 年 1 月 16 日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	成松宏人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	遺伝診療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし